

10月26日から Noa に引っ越ししました
行く前から引っ越しを楽しみにしていたお友だちが多く、ヒカヒカの新しいお部屋に興味津々、大きなトランポリンや、砂場に、大喜びのみなでした。高等部3年のお友だちにとっては、あと少しのCOCOですが、行事やプログラムを通してお友だちと一緒に、たくさん思い出を作ってほしいなあと思います。COCO 職員



COCO
放課後等デイサービス (中高生)



Noa 事業所にお引っ越ししてから約一か月経ちました。それぞれ子どもさんたちなりの形で、新しい環境での過ごしを受け入れて下さっており、スタッフ一同うれしい気持ちでいっぱいです。これからも子どもさんたちにとって最適な療育体制がとれるよう、努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。高森 絵斗

どんぶり
放課後等デイサービス (小学生)

昨年は、引っ越しという特別な出来事がありました。引っ越し直後は、新しいお部屋の環境や周囲の物に目を見開きキョロキョロとするお子さんもおられました。が、すぐに慣れてこれ、大きなトランポリンやハンモック、ブランコなどの新しい遊具を楽しんだり、とびきりの笑顔がたくさんみられていました。本年は、引っ越ししてから過ごす新たな1年となります。引き続き、キラキラひかりがややく笑顔がキュン♡と詰まった日々を、お子さん達とスタッフみんなで一緒に作っていただきたいと思います。



ひかり
放課後等デイサービス (重度心身)

本年もどうぞよろしくお願いいたします。加藤 花

2020 冬号
DOHO
どほうの家 ニュース
マカリオン
まかりおん
makarion

発行 社会福祉法人 とうほうの家
発行責任者 石崎 容子
編集 マカリオン編集委員会
〒611-0042 宇治市小倉町西山44-4
TEL(0774)-20-4080 / FAX(0774)20-2230
E-mail info@douhounoie.jp
URL https://douhounoie.jp

新年のごあいさつ
社会福祉法人 とうほうの家 統括施設長 石崎 容子

皆様、新年あけましておめでとうございます。
2020年はコロナ色的一年でした。去年の今頃、2020年はオリンピックイヤーだと楽しみにしていたのが嘘のようです。まだまだ油断できない日々ではございますが、まずは少しでも早くこの状況が収まり、平穏な日々が戻るように祈るばかりです。

2020年を振り返ると、緊急事態宣言が出た時には、まさかこんなことになるのか、と本当に驚いたことを思い出します。組織運営においても、多くの課題がのしかかり、緊張や不安、恐怖までも感じる日々でありました。しかしそのような状況下ではございましたが、同僚会 DOHOグループ(障害・高齢・医療部門)では、2020年度事業計画に基づき、コツコツと事業を進めてまいりました。ようやく、ホテル事業所に続く二つ目のグループホーム建設工事が着工し、進んできております。また、人材育成の在り方を見直し、より強化していくための人事評価・考課制度システムを導入し、試運転が始まりました。そして、法人の将来を見据え、SDGsを絡めた中長期計画の策定に向けての話し合いを重ねているところであります。すべてにおいて、まだまだ途上ではありますが、動き出し、検証し必要に応じて修正を重ね、より良いものにしていくように引き続き歩みを進めたいと思っております。

さて、2020年コロナウィルス感染症が流行する状況下で、本当に多くのことを考えさせられていました。特に、わからないものへの恐怖や不安は、人々をあらゆる方向へ動かすのだということを感じていました。もちろん、わからないままでは不安ですので、人はそれぞれ真実を追い求め、いろいろな情報を得てゆきます。しかし、真実は何か、と思いつつも、どこか自分の信じたいものを信じ、その上で行動していくのだということを感じさせられます。それは、ごく自然なことであるようにも思いますが、時にそれが差別や排除の思考につながりえることを忘れてはいけないことに、改めて気づかされてきました。このことは、私達が常に肝に銘じなければならないことの一つでもあります。

私達が行う障害福祉事業でも、わからないことに向き合っていかなければならない場面が多々あります。答えがみつからないことが目の前に広がってきたときに、いつの間にか偏った思考になっていないか、本当に広い視野で物事を見ているのか、そんなことを考えさせられます。この未曾有の事態を通して、考えさせられることは多々ありましたが、自問自答しながらも、目の前におられるご利用者に誠実に向き合っていくことを大切にしていきたいと、改めて強く感じています。

少し硬い話となりましたが、2021年となり、平穏な日々が1日でも早く戻ることを祈りつつ、DOHOグループでも、今出来ることをコツコツ取り組み、しっかり歩みを進めていきたいと思います。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

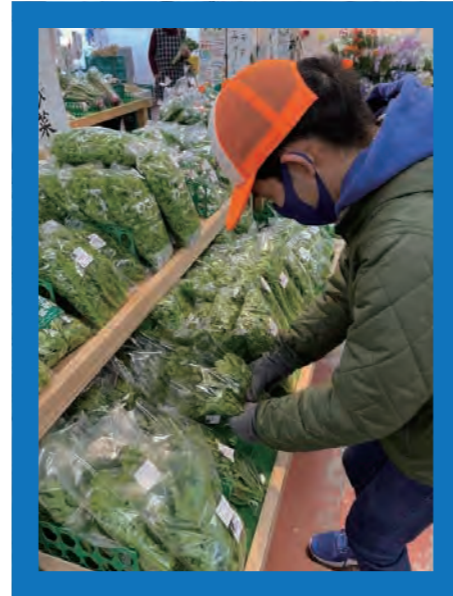




去年はコロナによる影響で行事のほとんどが中止になってしまいました。しかし、らぶでは感染予防に注意しつつ公園に散歩に行ったり、バーベキューや紅葉ドライブ等のちょっとした行事を行いました。今年も感染予防に配慮しつつ日々元気に過ごせるよう努めて参ります。今後とも宜しくお願い致します。

上西 陸也

楽 Fine
にっしょうかつどう せいかいご じぶよう
日中活動 生活介護事業

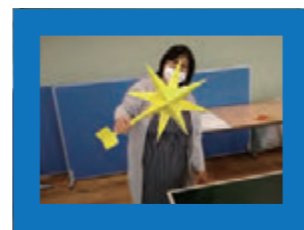


昨年11月より、ラジヨの支援体制が大きく変わりました。最初は慣れない環境の中、戸惑う利用者さんも多かったですが、これから作業に取り組みやすいように環境を整えて支援して参ります。本年も、よろしくお願い致します。

ラジヨ
せいかいご じぶよう
生活介護事業

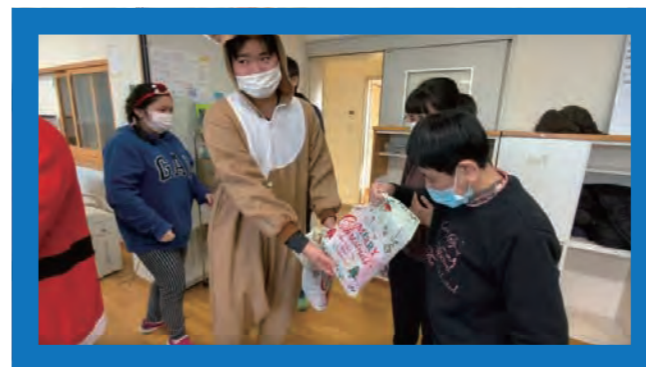
関谷 一輝

冬のお楽しみワークでは、卓球大会を開催しました。始めての方や2回目の方を含め沢山の方が参加されました。いつもは穏やかな方が、卓球の時には素早いステップでラリーをされるシーンもあり、白熱した試合の中で、意外な一面を見せられる方もおられました。どうなるかわからないワクワクした大会となりました。お楽しみワークに加えて、新たな取り組みとして卓球大会の内容を全員で振り返り「さくら新聞」と題して一枚の新聞にまとめました。改めて思い返すと参加した人も試合で負けて悔しい思いした人も、次の経験に繋げるかもしれません。寒い時期が続きますが、協力して何かに取り組むことであたたかい気持ちになる

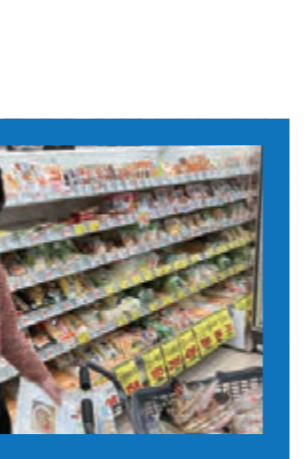


さくら
せいしんしょう しゃ にっしょうかつどう
精神障がい者 日中活動
就労支援センター

12月18日に2020イサククリスマス会を開催しました。リゴ、ラジヨメンバー揃って、劇、ダンス、ケーキ作りを楽しみました。サンタからのプレゼントをみんな笑顔で受け取っていました。



リゴ
しゅうろうしえんじぶよう
就労支援事業



コロナ感染が拡大し不安な日が続きますが、部屋の中にもりっばなしでは気がめいります。密にならない様に少人数で、細心の注意を図りながら買い物や近所の神社、公園など散歩に出かけています。

たいじゅ
ぐるーぷほーむ
グループホーム

12月はクリスマスや年末など何かと忙しく楽しい季節でもあります。また、1年の締めくくりとして、挨拶の手紙やカードを書く季節とも言えますね。12月ならではの季節感を表した手紙やカードを送りたいものです。只今、アークではクリスマスカードの共同制作を行っております。デザインは職員が考え、カードの材料は、外出先の公園で枝や葉っぱ、木の葉をメンバーさんが拾い集めました。このコロナ禍の中、一枚一枚に感謝の気持ちを込めて送りたいと思います。



アーク
せいかいご じぶよう
生活介護事業

澤井 彰久